

診断

わが家の簡易耐震診断をやってみましょう

(国土交通省住宅局監修「木造住宅の耐震精密診断と補強方法」より)

ステップ1

Q1. 建物はいつ建てましたか？

昭和56年5月31日以前に着工している

昭和56年6月1日以降に着工している



昭和56年6月1日以降のものは、耐震性の高い建築基準で設計されています。気になることがある方は、設計者又は建設業者に相談しましょう。

Q2. どんな建て方ですか？

一戸建て木造住宅
(在来工法)

その他の住宅
(2×4、鉄骨造等)



この診断票では診断できません。耐震性を確認したい方は、設計者又は建設業者に相談しましょう。

ステップ2

A. 地盤基礎

基礎	地盤			地盤]
	良い・普通	やや悪い	非常に悪い	
鉄筋コンクリート造布基礎	1.0	0.8	0.7	良い・普通：岩盤、砂れき層、洪積台地 やや悪い：深さ30mよりも浅い軟弱地盤・低湿地・埋め立て地や盛土地 非常に悪い：深さ30mよりも深い軟弱地盤・低湿地・海川池沼水田等の新しい埋め立て地
無筋コンクリート造布基礎	1.0	0.7	0.5	
ひびわれのあるコンクリート造布基礎	0.7	0.5	0.3	
その他の基礎(玉石、石積、ブロック積)	0.6	0.3	0.1	

B. 建物の形

上から見ても横から見ても整っている 1.0	上から見て凸凹している 0.9	1階に壁のない空間がある 0.8
------------------------------	------------------------	-------------------------

D. 壁の筋かい

あり:1.5 なし・わからない:1.0

C. 壁の配置(バランス)

 1.0 つりあいの良い配置	 0.9 外壁の一面に壁が1/5未満	 0.7 外壁の一面に壁がない(全開口)
----------------------	--------------------------	----------------------------

E. 壁の割合

平屋 2階建 1.5 1.2	平屋 2階建 1.5 1.0	平屋 2階建 1.2 0.7
平屋 2階建 1.0 0.5	平屋 2階建 0.7 0.3	

診断結果の判定

(A~Fの各評点をかけ算して総合評点を求めます)
総合評点 = A × B × C × D × E × F

総合評点	判定	今後の対応
1.5 以上	安全です	安全と思われませんが、今後とも維持管理に十分に行ってください。
1.0 以上 1.5 未満	一応安全です	専門家による診断を受け、耐震性を確認してください。
0.7 以上 1.0 未満	やや危険です	
0.7 未満	倒壊の危険があります	専門家による診断を受け、補強方法について相談してください。

F. 老朽度

健全	: 1.0
老朽化している	: 0.9
腐ったり、シロアリに喰われている	: 0.8

この診断の判定結果はあくまでも目安です。精密な診断を希望される方、また耐震性の相談をされる方は、専門家、自宅の設計者又は建設業者に相談してください。